

神戸スマート都市づくり計画(案)に対する意見書の概要及び意見に対する市の考え方

番号	関係箇所	意見の概要	神戸市の考え方
1	全体を通して	今後想定される高齢化という切り口に対応する記述がないのではないか。	今後の超高齢化を見据え、本計画においてもコンパクトな土地利用や公共交通の利用を重視した交通環境をめざしていくこととおります。わかりやすくするため、P. 21とP. 23に「高齢者にも配慮」という表現を補足します。(P. 21:また、生活圏レベルでは、地域の特性に応じるとともに、 <u>高齢者にも配慮して、徒歩圏内に・・・住環境の形成をはかります。</u> P. 23:そして、 <u>高齢者にも配慮し、歩いて暮らせるまちづくりを推進するため、・・・交通環境をめざします。)</u>
2	第4章 スマート都市づくりの推進方針	市街地整備の先導エリアや高度商業・業務地のエリア設定が大まかすぎる。	市街地整備の先導エリアについては、「神戸づくりの指針」で位置づけている「にぎわいと活力をもたらすリーディングエリア」を、高度商業・業務地については、「神戸市都市計画マスタープラン」に示した土地利用方針を示したものです。今後、本計画の実現にむけて、モデル地区を選定し、具体的なエリアを決めて取り組みを実施していく予定にしております。
3		ポートアイランド南公園は、気温上昇緩和に効果がある。ポートアイランド中心部分のほとんどを市街地整備の先導エリアや高度商業・業務地とするのではなく、緑や水のネットワークを大切にしてい北、中、南の3公園を拡大充実するべきである。	市街地整備の先導エリアについては、「神戸づくりの指針」で位置づけている「にぎわいと活力をもたらすリーディングエリア」を、高度商業・業務地については、「神戸市都市計画マスタープラン」に示した土地利用方針を示したものです。また、「神戸づくりの指針」において、先導エリアのひとつであるポートアイランドでは、海を満喫できる開放的な親水空間、緑豊かな公園緑地、緑陰やせせらぎがある街路など、海・緑・水を活かした潤いと憩いのある魅力的なまちなみを形成し、魅力的で高質な都市環境のさらなる充実を図っていくこととしています。
4		最近、再生可能エネルギーの活用が盛んになる中、地熱発電が注目されている。公共施設においても導入を促進していくべきである。	地熱エネルギーについては、安定して発電できるエネルギーであり、東北や九州地方を中心に活用されています。一方、地熱エネルギーの性格上、活用可能な区域に限られる課題があります。ご意見は、今後の施策推進にあたり、参考にさせていただきます。
5		しあわせの村において、太陽光発電、小型風力発電、小水力発電、バイオマスエネルギー等の活用や施設照明のLED化を進めることは、CO2削減のモデル事業として有効であると考えます。さらに、次世代エネルギーパークの認定をめざしてはどうか。	再生可能エネルギーの活用や公共施設における環境配慮技術の導入については、本計画の方針として位置づけております。ご意見は、今後の施策推進にあたり、参考にさせていただきます。

番号	関係箇所	意見の概要	神戸市の考え方
6	第4章 スマート都市づくりの推進方針	11次クリーンセンターの更新炉の用地活用についても、スマート都市づくりから議論してほしい。	神戸市一般廃棄物処理基本計画の中でも、11次クリーンセンターの施設整備にあたっては環境負荷の低減に配慮することとしております。今後、スマート都市づくりの観点からも敷地内の緑化や太陽光発電の導入などにより、環境汚染を未然に防止するとともに、低炭素社会の実現にも資することのできる施設の整備をめざしています。
7		東日本大震災以降、持続可能な環境配慮型都市を目指すことは、重要なテーマとなっている。神戸スマート都市づくり計画において、スマートなエネルギー利用だけでなく、事業継続計画（BCP）、防災拠点、エネルギーセキュリティ（エネルギーのベストミックス、分散型エネルギーの確保など）等を具現化することを求めるべきである。また、神戸スマート都市づくり計画を進めながら、計画の検証、評価と反映を行う上で、防災機能を備えた都市づくりに配慮した制度設計等を構築することが必要である。	ご指摘の事項について、P. 25方針⑦建築物・建築設備の更新時期にあわせたエネルギー消費の削減と利用効率の向上に、「○都心周辺や複合機能地における建築物のエネルギー性能のルールづくり（地域冷暖房や建物間・・・、エネルギーのベストミックスや分散型エネルギーの確保 など）」を、P. 29方針⑬選択と集中による戦略的な取り組みの推進に、「○災害時にも安全・安心に活用できるなエネルギーの確保の検討。」を追記します。
8		高度に土地活用している場所ほど、潤いある水や緑が必要であり、市民の負担で拡大充実することが基本である。例えば市役所庁舎の南側の公園などは、更なる水と緑の維持又は充実が必要である。面積的に小さくても水や緑豊かなエコゾーンが数多く細かく組み込まれる必要がある。	本計画においても、都心周辺などの人が多く集まる地区において水・緑の蒸発散効果を活用した熱環境の改善をめざすこととしております。さらに、公共空間だけでなく、準公的空間や私的空間での緑化に関するルールづくりも市民や事業者のみなさんと協働を進めていくこととしております。
9		河川において、流れる水と空間はひとつであるのに、熱を捨てるのか、風を通すのか、小型水力発電で恵みを得るのかの方針を決めた方が良い。	河川に期待する役割は、河川の位置・水量・流速や周辺の状況等により、多種多様にわたります。ご意見は、今後、施策推進にあたり、参考にさせていただきます。
10	第5章 スマート都市づくりの実現にむけて	中心市街地だけに絞って検討するのは望ましくないが、神戸市を広域的に考えるのであれば、まちにおける電気自動車の普及を考えても良いのではないか。	電気自動車など、環境負荷の少ない自動車利用環境の整備は必要であると考えており、本計画の方針として位置づけております。